

地域再生プロジェクトの展開

■住民・民間団体等との協働又は広域連携（地域の多様な主体の参画、連携・協働、地域相互の連携・補完等）

・地域再生プロジェクトの企画立案段階における連携（地域意見の把握方法など）

道東道釧路延伸を契機とした地域活性化の取組を効果的に進めるため、国、道、市町村、主要な民間団体などで構成する「ウェルカム道東道!! オールくしろ魅力発信協議会」（以下、「ウェルカム協議会」という。）が平成25年8月に設立されており、当該協議会において地域意見を把握し、企画に反映させていく。

・事業実施体制の考え方（多様な主体の参画、地域相互の連携・補完）

事業の実施に当たっては、ウェルカム協議会構成団体の協力や参画を得るほか、根室地域や十勝地域との連携も視野に入れながら、「オール道東」の取組に発展させていく。

■先駆性（創意工夫、新規性、類似の地域課題・地域特性を有した他地域へのモデル性）

国、道、管内全市町村及び、主要な民間企業の連携の下、さまざまな手段を用いて地域の情報発信に取り組み、交流人口の拡大につなげていく事業であり、今後、高速道路の延伸が計画されている道内の他の地域のモデルとなり得る。

■優位性（地域の資源・資産の有効活用、他の分野への波及効果）

釧路地域は国立公園を含む3つの自然公園を有し、シマフクロウやキタサンショウウオ、タンチョウといった希少生物に巡り会えるほか、広大な酪農地帯や恵まれた漁場を背景とした高品質で豊かな農水産物など、観光資源が豊富に存在している。これらの多様な観光資源の魅力を情報発信する事により交流人口を拡大し、地域経済の活性化に波及させていく。

■継続性（支援期間終了後における地域再生プロジェクトの展開）

・事業の実施主体について

ウェルカム協議会を中心に、継続的な取組を行っていく。

・財源の考え方について

必要に応じて各市町村から負担金を納付してもらうことを検討しているが、道央圏等へのプロモーションについては平成27年度の阿寒IC開設を区切りとする予定であり、平成28年度以降は「おもてなし期間」として主に既存のイベント等を活用することとなるため、現時点では特別な財源確保は不要と考えている。

地域再生プロジェクトの実施計画

No	事業名等		事業概要	年次別実施計画			
				これまでの実績	平成26年度	平成27年度	
1	事業名	道央圏向け「くしろの魅力」プロモーション	<p>(事業概要) 交流人口の拡大のため、道央圏をターゲットとして釧路地域の魅力を積極的に発信する。</p> <p>(取組内容) ■道央圏で開催される主要イベントへの出展のほか、集客力の高い商業施設において、プロモーションイベントを開催する。</p>	<p>・ウェルカム協議会において、本格的なプロモーション活動に向け、統一ロゴマークを決定したほか、ポスターやパンフレットのデザインを作成した。</p>	<p>・道央圏で開催される次のイベントに出展予定 ■さっぽろビアガーデン(7月) ■ホールニューカーフェスタ(8月) ■さっぽろオタムフェスタ(9月) ・独自企画によるプロモーションイベントを開催 ■道央道 SA・PA プロモーション(7月) ■開通直前イベント企画(3月サッポロファクトリー)</p>	<p>・道央圏で開催される次のイベントに出展予定 ■さっぽろビアガーデン(7月) ■さっぽろオタムフェスタ(9月) ・独自企画によるプロモーションイベントを開催 ■道央道 SA・PA プロモーション(7月) ■開通直前イベント企画(開通時期により決定)</p>	
	実施期間	平成26年度～平成27年度					
	実施主体	市町村実行委員会					
	事業区分	■新規 □既存 □継続実施					
	実施形態	□直営 ■委託 □補助					
	事業費	<table border="1"> <tr> <td>平成26年度</td> <td>3,850,000</td> </tr> <tr> <td>平成27年度</td> <td>2,350,000</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>6,200,000</td> </tr> </table>					平成26年度
平成26年度	3,850,000						
平成27年度	2,350,000						
計	6,200,000						
2	事業名	着地型おもてなしキャンペーン	<p>(事業概要) 新設ICの開通を契機として、観光リピーターの拡大につなげる。</p> <p>(取組内容) ■IC開設地において開催されるイベントの場を活用し、「オールくしろ」で観光客拡大のための「おもてなしキャンペーン」を実施する。</p>	<p>・白糠町における次のイベントとのタイアップ ■紅葉ウォーク(10月) ■ロードレース(3月) ■白糠IC開通時記念イベント(3月)</p>	<p>・釧路市におけるイベントとのタイアップ ■タイアップイベントは阿寒ICの開通時期により決定する</p>		
	実施期間	平成26年度～平成27年度					
	実施主体	市町村実行委員会					
	事業区分	■新規 □既存 □継続実施					
	実施形態	□直営 ■委託 □補助					
	事業費	<table border="1"> <tr> <td>平成26年度</td> <td>1,000,000</td> </tr> <tr> <td>平成27年度</td> <td>1,000,000</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>2,000,000</td> </tr> </table>				平成26年度	1,000,000
平成26年度	1,000,000						
平成27年度	1,000,000						
計	2,000,000						
3	事業名	IC開通の周知	<p>(事業概要) ICの開通を広く周知し、管内への観光客増加を図る。</p> <p>(取組内容) ■マスメディア等を活用して、ICの開通を広く周知する。</p>	<p>・ウェルカム協議会において、くしろ地域の魅力を発信し、観光客の来訪を促進するためのドライブマップを作成し、ホームページに掲載した。</p>	<p>・各種メディアを活用した情報発信 ■TV・ラジオCM ■開通記念広告(新聞) ■TV番組を活用したパブリシティの実施 ■ネット広告の実施 ・情報発信ツールの作成 ■ポスター、パンフレットの作成</p>	<p>・各種メディアを活用した情報発信 ■TV・ラジオCM ■開通記念広告(新聞) ■TV番組を活用したパブリシティの実施 ■ネット広告の実施</p>	
	実施期間	平成26年度～平成27年度					
	実施主体	市町村実行委員会					
	事業区分	■新規 □既存 □継続実施					
	実施形態	■直営 ■委託 □補助					
	事業費	<table border="1"> <tr> <td>平成26年度</td> <td>7,650,000</td> </tr> <tr> <td>平成27年度</td> <td>6,650,000</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>14,300,000</td> </tr> </table>					平成26年度
平成26年度	7,650,000						
平成27年度	6,650,000						
計	14,300,000						

4	事業名	プロジェクト推進会議の開催		(事業概要) 産・学・官・民で構成される推進会議を開催し、多様な意見を聞き取り事業へ反映させる。 (取組内容) ■推進会議の開催		・オールくしろ体制での情報共有及び意見交換 ■定期的に推進会議を開催	・オールくしろ体制での情報共有及び意見交換 ■定期的に推進会議を開催
	実施期間	平成26年度～平成27年度					
	実施主体	市町村実行委員会					
	事業区分	■新規 □既存 □継続実施					
	実施形態	■直営 □委託 □補助					
	事業費	平成26年度	0				
	平成27年度	0					
	計	0					
5	事業名	事業成果発表会の実施		(事業概要) プロジェクトの概要・進捗状況・成果等を広く地域住民へ周知する。 (取組内容) ■市政懇談会での成果発表。		・地域住民に対し、進捗状況・成果等を報告。 ■年間8回程度開催される市政懇談会での成果発表。(H27年8月頃)	・地域住民に対し、進捗状況・成果等を報告。 ■年間8回程度開催される市政懇談会での成果発表。(H28年8月頃)
	実施期間	平成26年度～平成27年度					
	実施主体	市町村実行委員会					
	事業区分	■新規 □既存 □継続実施					
	実施形態	■直営 □委託 □補助					
	事業費	平成26年度	0				
	平成27年度	0					
	計	0					
計	事業費	平成26年度	12,500,000				
		平成27年度	10,000,000				
		計	22,500,000				

留意事項

1 「格差の分野」欄

是正を目指す格差について、該当する分野を1つ選択すること。地域経済の格差又は医療・福祉の格差を選択した場合は、その格差を客観的に比較する指標を〔 〕内から1つ選択すること。なお、その他の格差を選択した場合は、その格差の内容を（ ）に記載すること。

2 「是正を目指す地域格差の状況」欄

地域格差の現状について、具体的な指標の数値により全道平均と比較すること。また、比較する指標を〔 〕に、年度等を（ ）に記載すること。

3 「地域重点プロジェクトとの関連性」欄

地域重点プロジェクトとの関連性について、該当の有無を選択すること。なお、該当する場合は、「地域重点プロジェクト名」と「主な取組」を記載すること。

※地域重点プロジェクト～ほっかいどう未来創造プラン（新・北海道総合計画）に基づき策定された「連携地域別政策展開方針」における「地域重点プロジェクト」

4 「地域政策推進事業との関連性」欄

地域政策推進事業との関連性について、該当の有無を選択すること。
なお、該当する場合は、「地域政策推進事業名」を記載すること。

5 「地域再生プロジェクトの目標」欄

- (1) **地域の現状・課題**：地域再生プロジェクトを企画・立案する背景となった、地域の現状・課題について具体的に記載すること。
- (2) **プロジェクトの目的等**：上記「地域の現状・課題」を踏まえ、提案するプロジェクトは何を目的として、どのような取組を実施するのか、どのようにして課題を克服するのか等を記載すること。

6 「期待される効果（指標）」欄

上記5に記載の目的の達成に向けた数値目標を設定すること。なお、目標の設定に当たっては、実際に把握可能な定量的な目標を設定すること。

7 「事業名等」欄及び「事業概要」欄

- (1) **実施期間**：各構成事業の始期及び終期を記載すること
- (2) **実施主体**：市町村、住民組織、NPO、企業、大学等と具体的に記載すること。また、複数の主体が協働で実施する場合は、それぞれ記載すること。
- (3) **事業区分**：交付金を要望する事業に限り、次により該当する区分を選択すること。
 - ① **新規**：市町村等において今年度新たに取り組む事業
 - ② **既存**：地域再生プロジェクトの目的達成に必要な不可欠な既存の事業
 - ③ **継続実施**：継続して交付金の交付を受けようとする地域再生プロジェクトにおいて過年度の交付対象事業を継続して実施する事業
- (4) **実施形態**：市町村側からの視点による事業の実施形態について直営、委託、補助の別を記載すること。
- (5) **事業費**：各構成事業の年次別事業費（予定額）を記載すること。
- (6) **事業概要**：各構成事業の目的・ねらい、概要を記載すること。
- (7) **取組内容**：各構成事業の取組事項を記載すること。

8 「年次別実施計画」欄

上記7の(7)に記載した「取組内容」について、これまでの実績、事業期間内における具体的な取組等を記載すること。